

学力調査からみる授業改善のポイント

令和6年度の各学力調査の結果から分析した戸田市の課題と、授業改善のポイントを紹介します。

授業改善の
ポイント！

◆ 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果より

国
語

- 事実と感想、意見との区別が明確でないなど、自分の考えを伝えるための書き表し方の工夫に課題がある。
- 自分の考えは記述しているが、必要な情報を取り出すことや、表現の効果を考えて言葉を選ぶことに課題がある。

学びの系統を踏まえ、本時のねらいに沿って、**自分の言葉で考えたり、表現したりする時間を確保し**、しっかりと見取りましょう。

算
数・
数
学

- 図形や単位量当たりの大きさ（速さなど）について、深い理解を伴う知識の習得やその活用に課題がある。
- 複数の集団におけるデータの分布を比較して傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

必要感や課題意識をもって数学的活動に取り組むことを通して、**実感を伴って**思考したり、表現したりする機会を充実させましょう。



◆ 令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果より

国
語

- 知識・技能が十分に定着せず、単元の学習や授業を離れても、活用できるようにすることに課題がある。
- 自分の考えを、目的に応じて適切にアウトプットする経験が不足している。

児童が**必要感をもち、学習の目的を明確にして**学びに取り組めるよう、学習内容や単元計画を工夫しましょう。

算
数・
数
学

- 個に応じた学びや支援が十分とは言えず、「知識・技能」が十分に身に付いていない。
- 難易度の高い問題に対する無回答率は高く、必要感のある課題設定やねらいを明確にした数学的活動が十分に行われていない。

日常との関わりを意識した数学的活用を充実させながら、「**教科の本質**」にせまる「**見方・考え方**」を明らかにし、価値付けましょう。

英
語

- 全体的に正答率が高く、「基礎的・基本的」な事項はしっかりと身に付いている。
- 文法、語法の知識・技能の習得については課題が見られる。

英語の文法や語法を実際の**コミュニケーションの中で使う**などして、理解を深められるようにしましょう。

◆ 授業改善のポイント

- ・教科の本質をしっかりと捉え、ねらいを明確にした授業づくり
- ・日常との関わりや他教科との関連を意識させ、子供がじっくり考えたり、表現したりする時間の十分な確保
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実